

「クラス内感染防止対策」チェックリスト

令和4年4月4日 山形県教育委員会

学校においては、依然、クラスターの発生が続いております。これまでの事例では、主に学校のクラス内での感染拡大の可能性も指摘されております。オミクロン株の感染力の強さを踏まえ、改めて以下の項目について、毎日確実に実施されているかチェックし、管理職に報告してください。

年 組 担任氏名：

チェック項目	チェック欄（実施したらレ点を記入）									
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1 自身の健康管理										
検温により平熱であること、その他、風邪等の症状*がないことを確認している。										
同居家族にも風邪等の症状がある者はいない。										
2 児童生徒の健康観察										
児童生徒の家庭での検温の状況を確認するとともに健康観察をしている。										
以下の場合は、登校を控え、医療機関を受診等することについて改めて呼びかけている。 ・風邪等の症状*がある場合 ・同居の家族に風邪症状等*がある者がいる場合										
3 教室での感染防止対策										
児童生徒のマスク着用（不織布製が望ましい）を確認している。 <small>*身体的理由等によりマスク着用が困難な生徒に配慮のこと。</small>										
手洗いの励行を呼びかけている。										
1時間に1～2回程度、授業開始または終了時など時間を決め、換気を実施している。										
4 「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」の対策										
◆各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」 □ 回数や時間を可能な限り絞っている。 □ 常時換気とマスク着用を徹底の上、大声での発声を控え、活動に支障のない範囲で身体的距離を確保している。 ◆音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」 ・合唱については、 □ 常時換気の上、マスクを原則着用している。 □ 合唱している生徒同士や指導者等、聴いている生徒等との間隔は、マスクを着用している場合であっても、前後方向及び左右方向ともできるだけ2m（最低1m）空けている。 ・楽器の演奏については、 □ 楽器の共用はせず、常時換気の上、演奏時以外のマスク着用を徹底している。 □ 演奏している生徒同士や指導者等、聴いている生徒等との間隔は、前後方向及び左右方向ともできるだけ2m（最低1m）空けている。 ◆体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」 □ 可能な限りマスクを着用し、運動中以外、特に会話の際はマスク着用を徹底している。 ただし、熱中症や呼吸困難など健康被害が懸念される場合はマスクを外すよう指導し、この場合も会話を避け、活動に支障のない範囲で身体的距離の十分な確保、換気を徹底している。										
5 昼食時										
指定された場所（ホームルーム教室の自分の席等）で、同一の方向を向いて、黙食しているのを確認している。										
6 登下校時の感染防止対策に係る指導										
大声での会話を控えること・マスクの着用・公共交通機関の利用時のマナー・帰宅途中の生徒同士のグループでの飲食は控えるよう指導している。										
管理職確認										

※「風邪等の症状」について、腹痛や下痢、倦怠感など体調に変化がある場合も含まれます。また、オミクロン株の特徴を踏まえ、発熱はなくとも、のどの痛み、鼻汁などの症状がある場合は登校を控えることを徹底しましょう。